

令和6年 第10回

福生市教育委員会定例会議事録

日時:令和6年10月25日(金)午前11時00分

場所:福生市役所第二棟4階委員会室

令和6年第10回福生市教育委員会定例会

<議題>

1 議案

(1) 議案第54号

福生市図書館協議会委員の任命について

2 報告事項

(1) 報告第29号

福生市教育委員会事務局職員及びその他の教育機関の職員の人事異動に係る臨時代理の報告について

(2) 報告第30号

令和6年度GTEC(スコア型英語4技能検定)の結果について

(3) 報告第31号

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について

3 その他報告事項

(1) 令和6年第3回福生市議会定例会の報告について

出席委員	教育長	石田 周
	委員	加藤 孝子
	委員	野口 哲也
	委員	宇田 剛
	委員	高橋 典久
	委員	林 宣之

事務局(説明員)	教育長(再掲)	石田 周
	教育部長	中島 雅人
	参事兼教育指導課長	森保 亮
	教育総務課長	大楠 功晃
	教育部主幹	吉本 一也
	学務課長	恒吉 薫
	スポーツ推進課長	近野 淳
	公民館長	佐藤 克年
	図書館長	森本 恭子
	指導主事	竹内 秀礼
	指導主事	田畑 圭洋
	教育総務係長(書記)	岸野 美幸

傍聴人	0人
-----	----

開会・前回の議事録

【教育長】 定足数に達しておりますので、ただ今から、令和6年第10回福生市教育委員会定例会を開会いたします。

議事に入る前に申し上げます。令和6年9月24日に開催いたしました、令和6年第9回定例会議事録につきましては、既に御覧いただいたと思いますので、御承認をいただきたいと思います。よろしいでしょうか。

(「異議なし。」の声あり)

【教育長】 御異議なしと認めます。令和6年第9回定例会議事録については承認されました。これより、本日の会議を開きます。これより、日程に入ります。日程第1、会議録署名委員の指名を行います。福生市教育委員会会議規則第19条の規定に基づき、野口哲也委員、宇田剛委員を署名委員として指名いたします。

教育長報告

【教育長】 次に、日程第2、教育長報告を行います。教育長報告を部長及び参事より申し上げます。初めに、中島教育部長より報告いたします。中島部長。

【教育部長】 それでは、私からは学校所管以外の教育長報告をさせていただきます。資料の3ページをお願いいたします。

まず、一番左の列、市の動きでございます。最初に、令和6年第3回福生市議会定例会が、9月27日をもって閉会しております。議案等につきましては、後ほど報告させていただきます。10月1日には教育委員の辞令交付式が行われ、新たに林宣之氏が教育委員に就任をいたしました。10月20日の総合防災訓練でございますが、東京湾南部を震源とする大規模地震が発生し、福生市では震度6弱を観測したとの想定で、福生第四小学校をメイン会場に、各避難所等にて実施をいたしました。

続きまして、各課でございます。まず、教育総務課でございます。10月4日、新藤美知子教育委員の退任式が行われました。新藤氏におかれましては、2期8年にわたり、当市の教育行政に御尽力いただきました。10月8日、府中市にて、東京都市町村教育委員会連合会、第1回研修会が開催され、加藤委員と高橋委員が出席をされております。10月11日、福生第一中学校にて教育委員会の学校訪問が行われております。10月23日、小金井市にて令和6年度東京都市町村教育委員会連合会、第4ブロック研修会が行われ、加藤委員が出席をされております。

次に、生涯学習推進課でございます。10月12日、第24回福生市子ども議会が市議会議場にて開催をされました。

当日は14名の子ども議員が一般質問し、担当の課長職が答弁をいたしました。また、市内全中学校から2名ずつ、計6名の中学生が質疑について講評するとともに、おのおのの生徒会活動について紹介しております。当日は市長もお越しいただき、御挨拶をいただきました。

次に、スポーツ推進課でございます。10月14日、スポーツの日に市長、教育長、教育委員のほか、社会教育委員、市議会議員など、多くの御来賓に御出席いただき、福生市民総合スポーツ大会総合開会式が中央体育館にて開催されました。開会式には、26種目の選手、関係者が集い、盛大に挙行されました。

次に、公民館でございます。9月28、29日の両日で、第26回本館まつりが、10月12、13日の両日で、第45回松林だれでもなんでも展がそれぞれ開催をされました。両イベントともに大変盛況で、開催期間中は多くの方に御来場いただいたところでございます。

最後に、図書館でございます。10月1日から14日の間、絵本作家の、もとやすけいじ絵本原画展が、S&Dたまぐー福生中央図書館で開催をされました。

その他、各課の主な事務につきましては後ほど御覧ください。

5ページをお願いいたします。こちらは、次回定例会までの主な予定でございます。最初に、市の動きでございます。11月2日には、市民会館小ホールにて、第31回福生市青少年の意見発表会が開催をされます。市内全中学校3校、都立高校2校より、計10名の生徒が意思表明を行う他、全校少年表彰及び家庭の日図画作文コンクール入賞者の表彰が行われます。

次に、教育総務課でございます。10月30日、青梅市にて、令和6年度東京都市町村教育委員会連合会、第1ブロック研修会があり、加藤委員が出席予定でございます。11月7日、福生第三中学校において、教育委員会の学校訪問が行われます。11月16日に、福生第七小学校創立50周年記念式典が、11月23日に、福生第二小学校創立150周年記念式典が各小学校体育館にて開催されます。11月22日には、第2回となります総合教育会議が予定されております。第1回会議を踏まえた新たな福生市教育大綱案について意見交換等を行う予定でございます。

次に、生涯学習推進課でございます。11月15日、福生市立小学校PTA連合会懇談会が、福生第一小学校にて開催され、教育長が出席される予定でございます。

次に、スポーツ推進課でございます。11月14日、第33回西多摩地域広域行政圏スポーツ大会総合開会式兼前夜祭が青梅市で行われます。当該大会は、11月3日から17日まで、西多摩地域で15種目が行われ、福生市は陸上競技の競技会場となっております。

次に、公民館でございます。11月2日、第54回福生市民文化祭開場式が市民会館大ホールにて開催予定でございます。なお、市民文化祭につきましては、2日、3日、4日、翌週の9日、10日の計5日間にわたり実施をされます。

その他、各課の主な事務につきましては後ほど御覧ください。説明は以上でございます。

【教育長】ありがとうございました。ただ今の教育部長の説明にございましたが、10月8日に開催されました東京都市町村教育委員会連合会、令和6年度第1回研修会に、加藤委員と高橋委員が、また、10月23日に開催されました、令和6年度東京都市町村教育委員会連合会、第4ブロック研修会に加藤委員が出席されております。高橋委員と加藤委員から順番に御発言をいただきたいと存じます。まず、高橋委員、お願いいたします。高橋委員。

【高橋委員】中島部長よりお話がありましたが、10月8日、府中市市民活動支援センター、プラッツ、バルトホールで開かれた、東京都市町村教育委員会連合会、令和6年第1回研修会に、加藤委員と出席してきました。

研修会では、「言葉の力、かける言葉で言葉が変わる。攻める防犯という考え方」というテーマで、東京未来大

学副学長、こども心理学部、犯罪心理学者、出口保行氏より講話がありました。

講演では、攻める防犯についてお話がありました。その中で気になったところを3つお話しさせていただきます。

一つ目は、情報共有です。例えば、学校が終わってからの子どもが危ない時間と場所といえば、夕方の公園と
思っている方が多いと思われそうですが、実際に多いのは、登下校時間帯の3時の路上などです。そして2つ目は見
える化です。例としては、以前では防犯カメラといえば犯罪が起きてから、映っているか、いないかを調べるもの
でしたが、今、いかに防犯カメラがありますよと、看板などで知らせるほうが抑止力になります。そして3つ目、一
番効果があるのはあいさつだそうです。犯罪者が躊躇した理由の一番が、あいさつされた目があったということ
だそうです。子どもたちを犯罪から守るためには、いかに登下校の見守りが重要かを再認識させていただきました。

福生市でも、以前では「登下校の子どもを見守ってください」の放送がありましたが、今はありませんので、再
開を検討していただければと思います。以上、報告になります。

【教育長】ありがとうございました。その放送については、また調べて対応したいと思います。

続きまして、加藤委員、お願いいたします。

【加藤委員】10月23日の(水曜日)に、小金市民会館で開かれました、東京都市町村教育委員会連合会、第4
ブロック研修会に出席してまいりました。

研修会では、小金井市の不登校対策の現状と、「医療現場から見たコロナ禍後の不登校への対応」というテ
ーマで、昭和大学リハビリテーション学科、作業療法学専攻、副島賢和氏、小金井市教育委員会教育長、大熊雅
士氏より講話がありました。副島賢和氏は、院内学級の先生、最初は小学校の先生でいらしたようですが、その
後、院内学級の先生をなさって、その経験から現在の職に就いていらっしゃるようでした。主には、大熊雅士教育
長がお話しなさったんですが、不登校の歴史を第1波、第2波、第3波という形にし、社会的な背景や文科省の施
策を重ね合わせてお話ししてくださいました。

簡単に言いますと、第3波、現在第3波なんですが、原因はコロナ禍というお話でした。コロナ禍では、子ども
たちに、人に関わることは危ないって教えられまして、考えてみると、小学校1年生は6歳ですよ。6歳のうちの半
分コロナ禍で、人との関わりを持つことはいけないことのように教えられてきたというふうに考えると、すごく大き
いことだなとあらためて思いました。コロナ禍での多くの喪失体験が今の子どもたちの不登校につながっている
ということで、子どもたちの心的エネルギーをためるように持っていかなければならないというお話でした。

今の不登校の対策については、これまでと同じ対応では駄目で、よく教育長がおっしゃいますように、子どもを
真ん中に、なおかつ子どももチームの一員であるという扱い方をして、解決に臨んでいくことが必要だというお話
で。子どもを真ん中にするだけでなく、チームの一員としてということに非常に私は感銘を受けたというか、ああ、
そうなんだという思いを新たにしました。以上です。

【教育長】ありがとうございました。他の委員から、御質問等ございませうか。よろしいでしょうか。ありがとうござ
いました。次に、森保教育部参事より報告いたします。森保参事。

【教育部参事】それでは、学校教育に関する所管事務について御報告申し上げます。

大きく3点ございます。1点は、行事等の実施状況についてです。中学校修学旅行、小学校日光移動教室、小

学校名栗自然教室、運動会、職場体験、合唱コンクール、道徳授業地区公開講座につきましては、資料にございますとおり、予定どおりの日程で実施いたしました。いずれの行事も無事に終了したとの報告を受けております。

なお、福生第七小学校の小学校日光移動教室についてですが、こちらは5月の定例教育委員会で御報告申し上げました、宿泊施設での食中毒の疑いによる日程変更により、この時期に実施をしたものでございます。

2点目は、行事等の実施予定についてです。ア、体育的行事でございますが、福生第一小学校、第二小学校、第三小学校は、明日、10月26日に3校同日に実施いたします。イ、文化的行事でございますが、11月22日、23日に、福生第一小学校で展覧会、福生第六小学校で音楽会を実施いたします。また、福生第七小学校が、50周年式典に合わせまして11月15日、16日に学習発表会を実施いたします。

ウ、道徳授業地区公開講座でございますが、福生第四小学校で10月26日に実施いたします。

続きまして、3点目、その他についてでございます。ア、福生第七小学校創立50周年記念式典でございますが、11月16日、午後2時から福生第七小学校体育館で行われます。

イ、福生第二小学校創立150周年式典でございますが、11月23日、午前10時45分から、福生第二小学校体育館で行われます。

ウ、就学時健康診断でございますが、10月30日、福生第四小学校をスタートとし、11月26日までに小学校全7校で実施いたします。

エ、福生市研究奨励校発表会は、11月8日、午後1時40分から、福生第六小学校で開催いたします。教育委員の皆さまには御多用のところ恐れ入りますが、御参加いただき、御指導いただければ幸いです。

その他、児童・生徒の活躍といたしまして、福生第二中学校の吹奏楽部が、第24回東日本学校吹奏楽大会に参加し、銀賞を受賞いたしました。説明は以上でございます。

【教育長】以上、報告が終わりました。質問がございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。それでは、教育長報告を終わります。

議案

議案第54号

福生市図書館協議会委員の任命について

【教育長】次に、日程第3、議案第54号、福生市図書館協議会委員の任命についてを議題といたします。森本図書館長より内容説明をお願いいたします。森本館長。

【図書館長】それでは、日程第3、議案第54号、福生市図書館協議会委員の任命について御説明させていただきます。

資料は9ページをお願いいたします。提案理由でございますが、福生市図書館協議会条例第3条の規定に基づき、次の10名を福生市図書館協議会委員に任命いたしたく本議案を提出するものでございます。

現在の図書館協議会委員の任期が令和6年10月31日をもって満了となりますことから、令和6年11月1日から2年間、記載の皆さまを委員候補として考えてございます。

候補者は、学校教育関係者2名、社会教育関係者1名、家庭教育関係者3名、学識経験者2名、公募市民2名の計10名で、再任は6名、新任は4名でございます。説明は以上となります。御審議を賜り、原案のとおり任命いただきますようよろしくお願い申し上げます。

【教育長】 内容説明は終わりました。質疑がありましたらお願いいたします。質疑ございませんでしょうか。ないようでしたら質疑を終わります。

お諮りいたします。議案第54号は原案のとおり決することに御異議ございませんか。

(「異議なし。」の声あり)

【教育長】 御異議なしと認めます。よって議案第54号は原案のとおり同意することといたします。

報告事項

報告第29号

福生市教育委員会事務局職員及びその他の教育機関の職員の人事異動に係る臨時代理の報告について

【教育長】 次に、日程第4、報告第29号、福生市教育委員会事務局職員及びその他の教育機関の職員の人事異動に係る臨時代理の報告についてを議題といたします。大楠教育総務課長より内容説明をお願いいたします。大楠課長。

【教育総務課長】 それでは、日程第4、報告第29号、福生市教育委員会事務局職員及びその他の教育機関の職員の人事異動に係る臨時代理の報告について御説明いたします。

11ページをお願いいたします。課長補佐以下の職員の任命、その他進退を伺うことにつきましては、教育長が臨時代理により決定させていただくことをあらかじめ御決定いただいておりますので、その内容について御報告するものでございます。

13ページをお願いいたします。令和6年10月1日付で人事異動がございました。資料に記載のとおり、課長補佐以下の職員の人事異動については、課長補佐職2名で、教育部への異動は1名でございました。異動対象部署はスポーツ推進課でございます。以上でございます。

【教育長】 内容説明は終わりました。質疑がございましたらお願いいたします。質疑ございませんでしょうか。ないようでしたら質疑を終わります。

お諮りをいたします。報告第29号は報告のとおり承認することに御異議ございませんか。

(「異議なし。」の声あり)

【教育長】 御異議なしと認めます。よって報告第29号は報告のとおり承認されました。

報告第30号

令和6年度GTEC(スコア型英語4技能検定)の結果について

【教育長】 次に、日程第5、報告第30号、令和6年度GTEC(スコア型英語4技能検定)の結果についてを議題といたします。竹内指導主事より内容説明をお願いいたします。竹内指導主事。

【指導主事】 それでは、日程第5、報告第30号、令和6年度GTEC(スコア型英語4技能検定)の結果について御説明をいたします。

資料17ページを御覧ください。令和6年6月に、中学校第3学年の全生徒を対象に実施いたしましたGTECについて、福生市の結果をまとめましたので報告させていただきます。

項番1、福生市教育振興基本計画、第2次における取り組み内容と目標値の赤枠内に記載の指標を御覧ください。福生市では、中学校第3学年のCEFRAI 上位以上のスコアを取得する生徒の割合、50%以上を目標としております。CEFRとは、外国語の運用能力を測る国際的な指標となっております。

続きまして、項番2、(1)を御覧ください。GTECでは、AIをスコアに応じて、AIポイント1からAIポイント3の3段階のレベルに分けられております。福生市が目標とするAI上位とは、GTECではAIポイント3に当たります。なお、国は中学校卒業段階でのCEFRのAIレベル相当以上を達成する生徒の割合60%以上を目標としていることから、福生市は国よりも高い目標設定をしていることとなります。

それでは、令和6年度の結果について説明をいたします。項番2、(2)を御覧ください。AIポイント3以上を達成した生徒の割合は40.1%で、昨年度と同程度の達成状況でした。英検3級程度とされているAIポイント1以上を達成した生徒は82.7%であり、国の目標値である60%を大きく超えております。

項番2、(3)、4技能別の平均スコアの結果を御覧ください。令和6年度の結果を見ていただきますと、4技能を総合した福生市の平均スコアは465.6と、全国参考値の461.0を上回っております。この表の右端、話すことの列を御覧ください。平均スコア109.2と、昨年度からスコアを伸ばし、令和6年度も平均スコアでAIポイント2を達成しております。

項番2、(4)は、4技能別CEFRJLレベル達成状況の割合を表にまとめております。

次に、GTECの結果を踏まえた授業改善について説明をいたします。資料右側、項番3を御覧ください。(1)では、先ほど説明いたしました4技能を総合した分析をまとめております。(2)では、4機能別の分析及び授業改善の視点例を示しております。この授業改善の視点例は、8月に開催いたしましたGTEC結果分析会において、市内中学校の英語科教員が協議した内容から、いくつかを取り上げて掲載をしております。例えば、一番下にあります話すことに関する授業改善の視点例では、タスク的な視点を取り入れた授業で即興的なやり取りを増やすなど、具体的な授業改善の方向性が協議されております。

今後は、これらの結果や授業改善の視点を校長会、英語教育推進委員会等で共有するとともに、英語教育指導顧問の訪問指導等、英語科指導に関する研修会等で活用することで、英語科のさらなる授業改善につなげてまいります。私からの説明は以上です。

【教育長】 内容説明は終わりました。質疑がありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。林委員。

【林委員】 福生市の英語教育推進計画の第2次を着実にやっただけという事で、その結果として

「話すこと」がすごく高いスコアになっている。これは推進計画第2次では、話すことに結構重きを置いているので、その成果が表れているなどというのは分かります。一方で、「書くこと」に課題があるのはさもありなんという感じなのですが、ちょっと気になるのは「聞くこと」があまり伸びていないんですね。コミュニケーションに力を入れている第2次計画では、話すことと同様に、聞くことについても伸びてくるという一応プランなんですけど、この辺についてはどういう分析をされていますでしょうか。

【教育長】 竹内指導主事。

【指導主事】 確かに聞くことにつきましては、A1ポイント2はスコアとしては達成していますが、スコアのポイントとしては伸びていないという状況は確かにございます。聞くことと話すことは一体として捉えていかなければいけませんので、分析としてはまだまだこれからしていかなければいけないと捉えております。ただいま御指導いただいたことを踏まえて、あらためて聞くことについて、現状、そしてこれからどのようにしていくのか、また学校ごとにこういった課題があるのかというところは英語科の教員とともに分析をしていきたいと思っております。

【教育長】 竹内指導主事、英語教育推進委員会はまたありますか。竹内指導主事。

【指導主事】 12月にございますので、そこで話題にしたいと思っております。

【教育長】 林委員、いかがでしょうか。林委員。

【林委員】 ぜひ授業の中で、例えば一定の分量の音声を聞かせて、聞いたことについて討論するとか、何か意見を述べるとか、質問するとか、そういうようなコミュニケーションの前段として「聞くこと」をやらせて、統合的な活動をぜひやっていただけると、「聞くこと」がさらに伸びていくんじゃないかなと期待ができるので、ぜひ御検討ください。

【教育長】 他に委員いかがでしょうか。宇田委員。

【宇田委員】 説明ありがとうございました。総合で見て、全国平均よりも上だった、とってもいいことだと思います。

こういったことを、ぜひ子どもたちをすごく褒めてあげる、自信を持たせてあげること、それから中学校の英語科の指導だけではなく、これは小学校から続いていると考えた場合に、小学校にもこの結果を丁寧に説明して、小学校の先生方もよくやっていただいているから福生はこうやって今英語力が向上しているということを示し、とにかく子どもたちには自己肯定感を、それから先生方には自信をもってもらうことをまずお願いしたいかなと思っております。

その上で、今、林委員からあったような、聞くこともそうだし、書くことについての指導というのをもうピンポイントでやっていこうということを委員会で検討していただけたらなと思っております。以上です。

【教育長】 ありがとうございます。竹内指導主事。

【指導主事】先日、教務主任会がございまして、そこで、このGTECの結果については協議をいたしました。小学校の教員に対しても、中学校の結果ではあるけれども、小学校の教員として、ぜひこの結果を考えてもらいたいという部分は話しました。また、12月の英語教育推進委員会では、小学校の教員と中学校の教員と一緒に会に参加いたしますので、そこであらためて子どもたちを褒めていこう、そして先生たちに自信を持って授業改善に今後も引き続き取り組んでいただきたいことは伝えていきたいと思います。

【教育長】よろしいでしょうか。森保参事。

【教育部参事】こちらのGTECの分析でございますが、対象が中学校3年生で実施いたします。この学年に関しては、市や全国の学力調査をみても、全国値より大きく下回る学年でございました。しかし、このGTECの結果を見ると全国平均を上回っておりますので、これは一つ教員に対して自信にもなりますし、子どもたちにも自信につながっていると考えられます。

確かに学力的に課題と申し上げればそうなかもしれませんが、非常に厳しい学年をここまで成果が残せたところは、一つ特徴としてあるべきかなと個人的には考えます。どうしても学年によって少し結果は変わってきてしまうことから、そのような分析も可能と思っているところでございます。以上でございます。

【教育長】ありがとうございます。よろしいでしょうか。今の質疑等を伺っていて、今回の結果を3年生の生徒や2年生に、つまり生徒自身に教育委員会としてどのように伝えるか、指導主事には工夫していただけるといいと思います。他によろしいでしょうか。では、ないようでしたら質疑を終わります。

お諮りいたします。報告第30号は報告のとおり承認することに御異議ございませんか。

(「異議なし。」の声あり)

【教育長】御異議なしと認めます。よって報告第30号は報告のとおり承認されました。

報告第31号

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について

【教育長】次に、日程第6、報告第31号、令和6年度全国学力・学習状況調査の結果についてを議題といたします。竹内指導主事より内容説明をお願いいたします。竹内指導主事。

【指導主事】それでは、日程第6、報告第31号、令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について御報告をいたします。

資料21ページを御覧ください。令和6年4月18日に実施をいたしました、令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について、教員向けのリーフレットにまとめましたので、本日はその要点を説明させていただきます。

21ページ、中段の各教科平均正答率の表を御覧ください。速報値で御報告しましたとおり、令和6年度につきましては、小学校、中学校ともに全ての教科で東京都及び全国の平均正答率を下回る結果となっております。

続いて、資料22ページを御覧ください。こちらには、小学校の教科別の結果について、上段に国語、下段に算

数を掲載しております。上段国語の枠内、課題が見られた問題を御覧ください。

小学校国語では、学年別漢字配当表に示されている漢字を、文の中で正しく使うことに課題があることが分かりました。特に無回答率が東京都や全国と比較して高くなっています。なお、課題が見られた問題については、国立教育政策研究所の報告書から、指導改善のポイントを確認できるよう、2次元コードを掲載しております。

次に下段、小学校算数では、計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを、式や言葉を用いて記述することに課題があることが分かりました。なお、小学校算数では、東京都や全国の分布と比較すると、福生市では学力の二極化傾向が顕著に見られております。

続きまして、資料23ページを御覧ください。こちらは、中学校の教科別の結果を掲載しております。上段、中学校国語では、文脈に即して漢字を正しく書くことに課題があることが分かりました。国語に関しましては、先ほどの小学校、そして今回の中学校に共通して、漢字の習得に課題があることがこの分析から分かっております。中学校数学では、等式を目的に応じて変形することに課題があることが分かりました。特に無回答率が東京都や全国と比較して高くなっております。

続きまして、資料24ページを御覧ください。資料24ページでは、質問調査の結果の一部を掲載しております。上段枠内は、各問題に関する無回答率の経年変化を掲載しております。最後まで回答を書こうと努力した児童・生徒は減少傾向にあり、調べたことや考えたことを分かりやすく文章で書かせる指導や考えを引き出したり、思考を深めたりする指導をさらに充実させる必要があります。中段は、学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動の取り組み状況について、主体的、対話的で深い学びに関する質問項目の肯定的回答割合と、平均正答率とのクロス集計の結果を掲載しております。この結果からは、課題の解決に向けて自分から取り組んだと肯定的に回答した児童・生徒は約80%と、東京都や全国と同程度の割合でした。また、肯定的回答をした児童・生徒ほど平均正答率も高い傾向が出ております。

下段は、ICTを活用した学習状況について、授業での使用頻度でほぼ毎日と回答した児童・生徒の割合と平均正答率のクロス集計結果を掲載しております。結果からは、小学校、中学校ともに、東京都や全国と比較して、ほぼ毎日と回答した児童・生徒の割合が高くなっております。特に中学校では48.7%と非常に高く、学校においてICTを活用した授業が推進されていることが分かります。また、ほぼ毎日、週3回以上とICTの使用頻度が高いと回答した児童・生徒ほど、平均正答率も高い傾向が出ておりました。私からの説明は以上です。

【教育長】 内容説明は終わりました。質疑がございましたらお願いいたします。野口委員。

【野口委員】 ICTを活用した学習状況のアンケートを今見ているのですが、授業での使用と、自宅で復習として使用する時間は、質的に違うと思うので、それぞれの使用時間や効果が分かると良いと思いました。このデータは、授業や自宅など全部合わせての時間なのでしょうか。

【教育長】 竹内指導主事。

【指導主事】 こちらは、リーフレットにまとめているものについては、あくまでも授業の中で使っているかどうかというところの回答になっております。

【野口委員】 分かりました。

【教育長】 よろしいでしょうか。他はいかがでしょうか。林委員。

【林委員】 分析ありがとうございます。この分析の中の観点別のところを見ると、思考・判断・表現はさることながら、知識・技能の平均正答率が非常に低いですね。さらに無回答が多いということを考えると、思考に結び付く前の、いわゆる思考の基盤となるような知識・技能が不足しているために、考えようにも考えられなくて無回答になってしまったりとか、そういうことなのかなというような見取りもできるんですね。そう考えると、本当に基礎・基本を徹底的にやっていくしかないのかなという感じが印象としていたします。以上です。

【教育長】 ありがとうございます。まさに先ほどの指導主事の分析も、その辺りが、漢字とか四則演算などの基本的な学力について、改めてそこは強化しなきゃいけないと、私自身、指導課と話しているところなんです。竹内指導主事、何か補足はありますか。竹内指導主事。

【指導主事】 まさに、その基礎、基本の部分というところは非常に課題であると感じているところです。例えば漢字で言いますと、単に書き取りをするだけでは身につかないと思っております。文の中で使っていく、積極的に習った漢字を使っていく、そのような指導を教員が心がけていく中で、漢字の習得につながっていくと思っております。そういった具体的な指導について、授業改善推進員会等であらためてこの結果を踏まえた分析、そして今後の授業改善の取り組みを検討していきたいと思っております。以上です。

【教育長】 よろしいでしょうか。

【林委員】 はい。

【教育長】 ありがとうございます。他はいかがでしょうか。宇田委員。

【宇田委員】 説明ありがとうございました。先ほどの教育総会議でも申し上げたんですけれども、もしこの結果が厳しいならば、一遍に全体を上げていくというのはなかなか難しいわけなので、ピンポイントで焦点化をしたらいかがでしょうか。それは前にもちょっとお話したことあるんですが、例えばなんですけれども、各問題での無回答が多いですね。それから、英語でも書くところが弱かった。英語の授業で英語を書くことも大切だし、国語の授業の中で何か書くことも大切なんですけども、逆に言えば横断的に全ての教科の中で何か書く、自分の考えをノートに書くことをやっていって、まずはとにかく書いてみる。思考を深めるためにも書く癖をつけていくことによって、国語の無解答率、それから英語の書く問題というのもプラスになるかもしれないなと思っております。

ですから、さっき言ったフォーカスというか、まず書くことをとにかくやってみよう、書くことというのは、教科の指導も含めて、いろんな場面で、先生との日記でもいいし、もっと教科の授業で自分の考えを書く、そんなことも今度、学力の委員会の中で話し合っ、話題にしていればなと思います。

【教育長】 ありがとうございます。教科横断的という言葉もいただきましたし、何か共通して取り組めるような「書く活動」についての提案について、学力向上推進委員会等で、あるいは教務主任会等で話題にしていけた

らいいと、今、宇田委員のお話を聞いていて私も思いました。

基礎、基本については、市内のある小学校の校長先生が、暗唱の実践をやってらっしゃるんですよ。子どもが詩を覚えてきて校長室で暗唱するわけですが、一生懸命覚えてきているんだけど、中には、文章の意味が分かっていないまま、暗唱してくる子どもがいる。そのため、文節を切るところを間違えて暗唱している。どうしてそこで切るのか。言葉の単語と単語のつながり目が分からない。それでも子どもは一生懸命覚えるというのです。

しっかりと丁寧に、言葉の意味、文章の流れも含めて理解しつつ暗唱する。暗唱することで、文章の意味が改めて分かる。音読・暗唱を続けていきたいというお話でした。

いずれにいたしましても、本市の学力の実態については、はっきりと課題が分かっていて、改善に向けて経年やってきても、それでも変わらないところです。生活や家庭学習の見直し等も含めて、現在、福生第六小学校が、市の研究奨励校として、研究をしています。そういったものを全市で広げていけるといいと思います。

他によろしいでしょうか。それではお諮りいたします。報告第31号は報告のとおり承認することに御異議ございませんか。

(「異議なし。」の声あり)

【教育長】 御異議なしと認めます。よって報告第31号は報告のとおり承認されました。

その他報告事項1

令和6年第3回福生市議会定例会の報告について

【教育長】 次に、日程第7、その他の報告事項について。その他報告事項1、令和6年第3回福生市議会定例会の報告についてを、中島教育部長より内容説明をお願いいたします。中島部長。

【教育部長】 それでは、私から、令和6年第3回福生市議会定例会について報告をさせていただきます。資料は27ページをお願いいたします。1の会議につきましては、記載のとおり25日間で開催されました。次に、2の教育委員会関連の主な議案等でございます。まず(1)令和6年度福生市一般会計補正予算第3号でございます。教育関係では、インクルーシブ教育システム体制整備推進事業と、小学校教科担任制等推進校事業でございます。

次の(2)は、教育費を含みます令和5年度福生市一般会計決算認定でございますが、無事承認、認定をさせていただきます。令和5年度の決算額は、歳入が321億7,934万2,344円、歳出が310億393万8,607円となっております。教育費の歳出決算額は41億9,958万7,013円で、歳出全体に占める割合は13.5%でございます。

(3)、福生市教育委員会委員の任命については、加藤市長より、林宣之氏を新たな教育委員として選任したい旨の議案が提出され、議会の同意がなされてございます。任期は令和6年10月1日より、令和10年9月30日までの4年間でございます。

(4)の一般質問でございますが、17名の議員から質問がございまして、そのうち教育関係は7名でございます。内容につきましては、27ページから34ページまで議事録がございまして、後ほど御参照いただければと存じます。説明は以上でございます。

【教育長】ありがとうございました。内容説明は終わりました。質疑がありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。質疑を終わりたいと思います。

他に、その他の報告事項はございますか。委員の皆さまから何かございますか。よろしいでしょうか。ないようですので、その他報告事項を終わります。

参考日程

教育委員会定例会の開催

令和6年11月22日(金曜日)午前11時 市役所第二棟4階委員会室

【教育長】最後に、次回の教育委員会定例会は、令和6年11月22日(金曜日)11時より、福生市役所2棟4階、委員会室にて開催いたしますので、御予定くださいますようお願いいたします。

本日の日程は全て終了いたしました。これをもちまして、令和6年第10回福生市教育委員会定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

(午前11時48分)